



## 臨時全校朝会

全国的な新型コロナウイルス感染症拡大及び山口県のまん延防止等重点措置適用期間の延長に伴い、学校の行事・活動等の制限や感染症対策について、文書でお知らせしているところですが、昨日、臨時全校朝会を開き、子どもたち自身が新型コロナウイルス感染症について考える機会をもちました。全校朝会において、校長先生が次のように話しました。

皆さん、おはようございます。わたくしから、大切なお話があり、臨時の全校朝会を行うことにしました。よく聞いて一人一人がしっかり考えて、望ましい行動をしてください。皆さんも、知っているとおおり、今、オミクロン株の新型コロナウイルス感染症が拡大傾向にあります。山口市内においても、感染者数の増加が心配されています。幸い、今は附属小学校に、このウイルスに感染している人はいません。しかし、このウイルスはとても感染力が強く、十分な感染予防をしても、感染する可能性の高いウイルスです。また、中学生や小学生、幼児にまでも感染した例が、山口県内をはじめ、全国から数多く報告されています。

このような状況の中で、家族やお友達、身近な人が感染してしまったときに、その人たちの気持ちを考えると、君たちはどのような思いで生活すればよいでしょうか。自分が感染したときのことを考えれば、自ずと分かることでしょう。

感染した人のことを噂したり、差別したりするなど、いじめにつながる言動は決して許すことはできません。自分事として、その人の気持ちを考えれば、自分はどのように振舞えばよいのか、皆さんであれば、きっと分かってくれると信じています。その人を気遣い、心配することこそが、人として大切なのではないのでしょうか。

学校ではより一層の感染予防を続けていきますが、皆さん一人一人も、手洗い・消毒、マスクの着用、そして三密を避け、十分気を付けて生活していきましょう。

ご家庭におかれましても、子どもたちが正しい理解の下、常に相手の立場に立って、思いやりのある行動ができるように声かけをお願いいたします。

## 「創る科」の研究発表会(価値の創出と受容、転移をコアとした教科融合カリキュラムに関する研究発表会)



1月22日(土)に「創る科」の研究発表会をリモートで行いました。感染症対策として、リモートも協議会毎に会場を設定し、1年生から6年生までの「創る科」の授業(参加者に事前に動画でご覧いただいています。)について協議会で話し合いました。リモートのよさの一つに遠方でも参加しやすいことがありますが、遠くは北海道など全国各地から多数のご参加をいただきました。協議会後は、上智大学の奈須先生と国立教育政策研究所の福本先生による対談形式の講演をしていただきました。次年度、「創る科」の授業を保護者の方々にもご覧頂ける機会をつくっていくことができたらと考えています。

